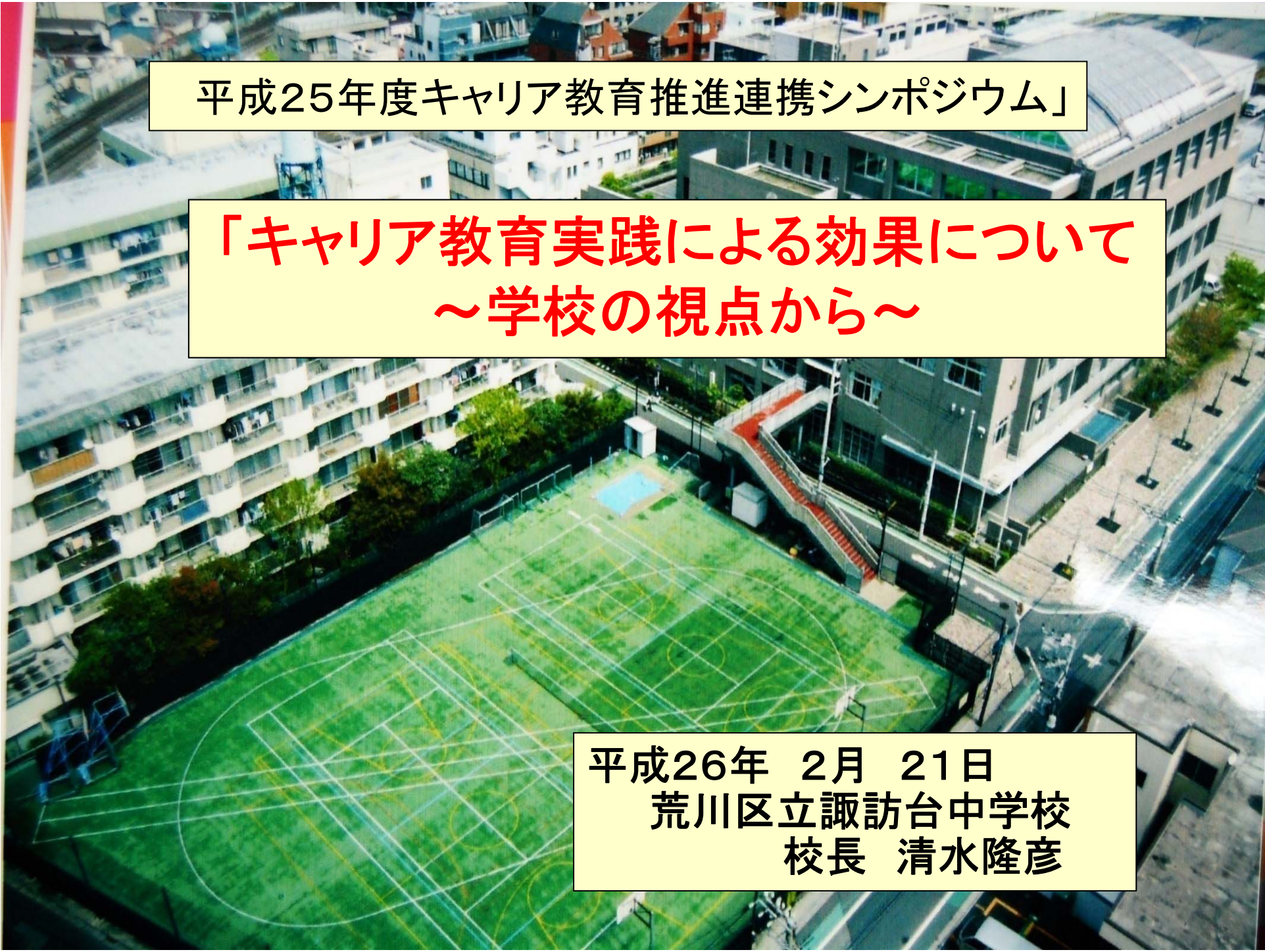




平成25年度キャリア教育推進連携シンポジウム」

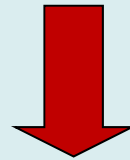
「キャリア教育実践による効果について
～学校の視点から～

平成26年 2月 21日
荒川区立諏訪台中学校
校長 清水隆彦

(1) 中学校現場から・・・なぜ今キャリア教育が必要なのか

【現在の社会問題】

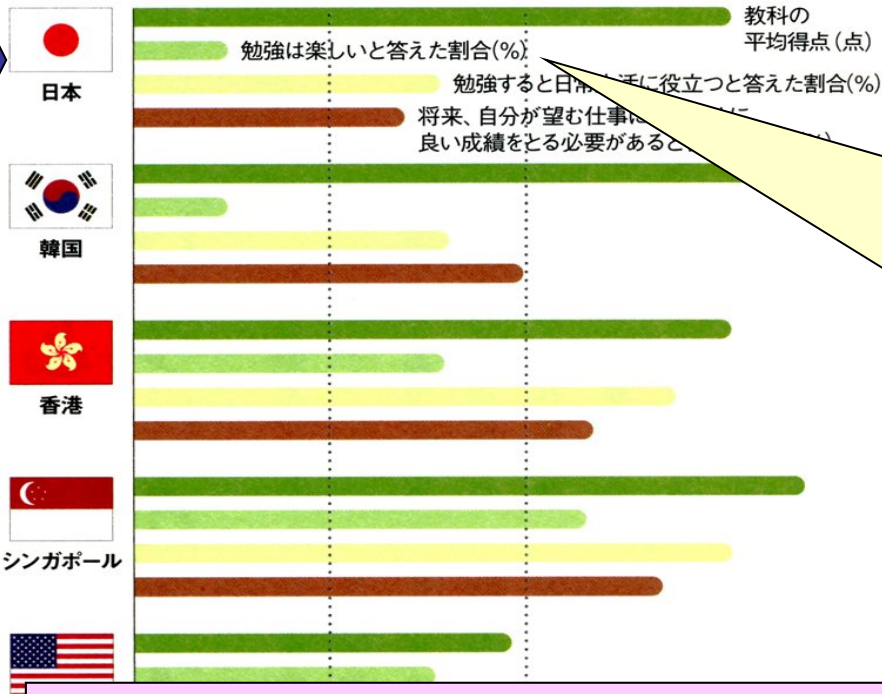
- ・ニート、フリーター問題(63万人・過去最高 6/18「子供若者白書」)
- ・未就職者、離職率の増加
- ・不況の影響を受ける就職戦線の厳しい現実
- ・社会人として求められる力の欠如
- ・先送りされるキャリア教育・・・等



【国際調査から見える日本の課題】

- ①PISA型(学習到達度調査)で見える課題
 - ・自分への自信欠如・自らの将来への不安・体力低下・・・等
- ②IEA国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)で低い項目
 - ・授業が楽しい ・日常生活に役立つ ・学習は将来のため

② 中学生の数学に関する国際調査



① 将来就きたい仕事

男子

小学生



【著しく低い項目】

- ・授業が楽しい
 - ・日常生活に役立つ
 - ・将来自分が望む仕事に就くために勉強
- 「将来につなげて今をとらえる学び」の欠如

その他の職業
わからない

23.7

その他の職業
わからない

38.2

その他の職業
ない・考えたことがない

女子

小学生



【21世紀型スキル】(基本的な考え方)

従来の知識詰め込み型教育、指導教員が知識や考え方を教えたり、伝えたりすることに主眼が置かれていた。



- ・コミュニケーション能力
- ・問題解決能力
- ・協働で作業する能力
- ・ICTを活用する能力・・・等

[出典] IEA国際数学・理科教育動向調査の2007年調査 (TIMSS2007) による。

[出典] 小・中学生は、内閣府調査 (2007 年)、高校生は、社団法人全国高等学校 PTA 連合会・株式会社リクルートの合同調査 (2007 年) による。

全ての教育活動でキャリア教育の実践が必要

【基礎的・汎用的能力の育成】 (社会人として必要な力)

- ・人間関係形成・社会形成能力
- ・自己理解・自己管理能力
- ・課題対応能力
- ・キャリアプランニング能力【必要な能力をどう伸ばすか】



各教科

道徳

特別活動

総合的な学習の時間

各教科領域で進めるキャリア教育

外部人材と協働するキャリア教育



【教科指導でのキャリア教育】

・各授業の中で社会人として必要な能力を育成する

(課題対応能力を育成する議論型理科実験、人間関係形成能力を意識した英語授業、自己理解を進める道徳)

【勤労観、職業観の育成】

・**勤労留学**・職場訪問・職業調べ
校内ハローワーク等で外部人材を活用。キャリアコンサルタント、コーディネーターによる支援

第三中学校(諏訪台中学校)のキャリア教育の捉え

「社会人・職業人・地域人の育成」と定義



全教育活動で3つの人を育てる教育計画を推進する



学校経営方針：「全教育活動をキャリア教育の視点で捉え、
【目指す学校像】 基礎的・汎用的能力を育成する学校」



- ①地域コミュニティやNPO、キャリア教育コーディネーター、キャリアコンサルタント・・・等、外部人材との連携が必要。
- ②単なるイベントではなく、学校経営方針に基づいた目指す生徒像に向け、3年間の指導計画に基づいた意図的、計画的な取り組みでなくてはならない。

(様式1)

平成25年度

学校パワーアップ全体構想

諏訪台中学校

【荒川区学校教育ビジョン】

未来を拓き、たくましく生きる子どもを育成する

- 1 子ども一人一人の可能性を伸ばす
 - 2 豊かな感性や創造力を育む
 - 3 社会的自立の基礎を培う
- キャリア教育の視点で教育活動を展開する。

【児童・生徒の実態】

- 子どもらしく活発・素直で思いやりがある。
- 勉強・運動・行事等、何事にも真摯に取り組むが、主体的に継続的に学ぶ姿勢は不十分である。
- キャリア教育と言語能力の育成という視点で探求的な学びの体験活動を増やす必要がある。

【学校の教育目標】

豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
自ら考え、すすんで学ぶ生徒
心身ともに健康で、たくましい生徒
地域と共に学び、地域を愛する生徒

【学校パワーアップのための基本方針】

- 学校経営方針の大きな柱として、キャリア教育の基礎的・汎用的能力の育成がある。この視点でICT機器を活用した授業改善や特色ある教育活動、学校図書館学習センター化・・・等の推進が学校パワーアップの基本となる。
- ①学校新聞づくりによる言語活動の重視、確かな学力の定着・向上のための具体策 ②豊かな社会性・人間性を育む生活指導と道徳教育 ③部活動を中心とした規律指導・体力づくりと文化活動の充実を推進する。
- 全教育活動全般を通じてキャリア教育を推進し、将来へ目標をもった行動（学習意欲、人間関係形成能力等）に結びつけるため、基礎的・汎用的能力育成の視点で教科指導、体験活動、新聞教育等へ予算を有効活用する。

【学校パワーアップのための重点】

【学力向上マニフェスト】

学力向上の数値目標に向け目に見える形で成果を目指す。基礎基本の定着と応用力、表現力の育成を徹底する。授業改善、補習活動の増強、各種検定の奨励等、学力向上対策施策、わかる授業へICT機器の活用を実施する。

- ①外部人材活用による教育推進
 - ・アシスタントティーチャー活用
 - ・「諏訪台てらこや」の講師活用
 - ・放課後補習・検定対策補習教材
- ②各種検定合格の拡大推進
 - ・検定用教材・書籍の充実
- ③ICT 機器活用による授業の質の向上（電子教科書等のソフトの購入）
- ④荒川区授業力向上プロジェクト事業研究指定校による研究推進・研究用書籍購入

【創造力あふれる教育の推進】

- ・学校図書館学習センター化事業
 - ・音楽が流れ、歌声が響く学校作り
 - ・日本文化伝統の学習推進
 - ・思考力、判断力、表現力を育成する新聞教育の充実
- ①図書館学習センター事業の展開
 - ・学校図書館改善、授業活用のための必要物品購入
 - ・学校図書館指導員とのコラボ授業推進（必要物品購入）
 - ②音楽活動推進事業
 - ・合唱コンクール、吹奏楽部レベルアップ（外部人材活用）
 - ③日本伝統文化学習の取り組み
 - ・武道（剣道）指導の講師報償費
 - ・和楽器指導（箏曲、三味線）
 - ④新聞教育推進事業

・表紙・副読本設置・・・他。

【未来を拓く子どもの育成】

- ・キャリア教育の推進事業拡大によるキャリアプランニング能力の育成を行う。
 - ・学力向上こそ未来を拓く子供の育成
- ①キャリア教育の推進事業拡大によるキャリアプランニング能力の育成を行う。
 - ・「校内ハローワーク」を全校実施する。（講師報償費）
 - ②キャリアコンサルタントによるマナー講座。（講師報償費）
 - ③全国をリードする新聞教育の推進に伴う必要物品購入
 - ④日本の伝統文化理解教育の充実（和楽器指導（和楽器購入）武道教育の充実）

平成25年度学校パワーアップ全体構想図

・キャリア教育の視点で推進

全教育活動をキャリア教育4領域の視点で実施する。

外部人材と協働する体験活動・・・
「校内ハローワーク」「勤労留学」等
を一層発展させる

図書館学習センター化による
キャリア教育の推進

授業力向上プロジェクトをキャリア教育の視点で推進

実践事例①:「校内ハローワーク」

毎年30業種以上のゲストティーチャーを迎え、3講座受講する。
3年間で9業種を巡る。社会人を知ることが毎日の生活に生きる。



【ねらいの明確化が重要】↓

- ①職業講話を通じて中学生の
今、何を努力すべきかを考える
機会とする。学校生活を見直す
- ②職業理解、職業との出会い



【ねらいの共通理解こそが行
事の質・意義を高める】↓

1時間に及ぶ綿密な講師との
打ち合わせが成功へと導く

キャリア教育コーディネーターとの協働が継続的な実施につながる



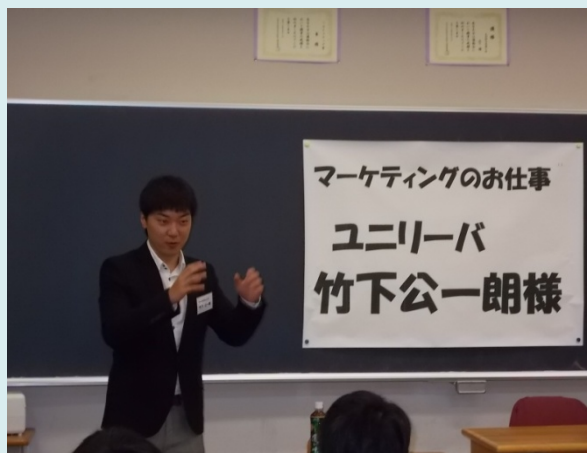
平成25年10月5日
諏訪台中学校
「校内ハローワーク」全
体会（開会式）

キャリア教育コーディネーター 2名

【学校側の窓口】
分掌を超えた特命担当
を配置
...
「校内ハローワーク
特命担当」

- (成果) ①教員とは違う目線が新しい職業との出会いを広げる。
②1年間に及ぶ準備期間で教員が外部人材、社会が求め
能力、課題を共有できる。

平成25年10月5日 諏訪台中「校内ハローワーク」30業種実施



マーケティングの仕事



インテリアコーディネーター



クッキーパティシエ



機械エンジニア



経営コンサルタント



会社経営者

3講座は、1講座は希望した職業、2講座は機械的に割り振る



全体会での質疑応答

【生徒の感想より】

- ・心に響いて明日からの生活が変わりそう。
- ・想像していたより仕事は厳しそう。
- ・面白そうな仕事がたくさんあることを知る機会となった。

【講師より】

- ・生徒の目が輝いていたのが印象的だった。
- ・中学校時代にこのような授業が受けられてうらやましい。自分も体験したかった。
- ・自分の仕事の意義を改めて見つめ直し、初心に返ることができた。

【教職員より】

- ・社会で活躍する大人の言葉が生徒の心に届き、日常生活の改善につながる期待ができる。
- ・講師のお話が自分の指導にも役立ちそう。連携できてよかった。

実践② おもしろ探求授業(各教科の専門家による授業例)



(ハワイ天文台との中継授業)



(オリンピック選手による体育授業)



(遺伝子、ゲノム授業)



(深海の世界授業)



「味覚授業」 味の素株式会社
営業企画グループ 阪田博之 先生



「エコ発電授業」東京電力 地域コミュニケーショングループ 宮田 謙二先生



「エコクッキング授業」
東京ガス株式会社 高橋 順子 先生

【研究者、企業人より】
教科への興味関心を高め
職業のおもしろさを学ぶ。

**実践③ 諏訪台中学校、平成26年1月27日～28日 家庭科
教科での外部人材(家庭科の調理実習に地域人材を活用)
【ホテルラングウッドシェフと家庭科教諭の協働授業】**



実践④ 諏訪台中学校(平成24年1月13日) 職場訪問を前にしたキャリアコンサルタントによるマナー教室



【行事をつなぐ外部人材の活用】
キャリアコンサルタント
キャリア教育コーディネーター



実践⑤：地域資源との『つながり感』を生かす取り組み 勤労留学（5日間の職場体験）・・・9年前より全中学校で実施



【完全5日間職場体験実施へのプロセス】

- ①教職員による地域とのネットワークづくり
- ②荒川区商工会議所の皆さんの支援
- ③行政機関が受入事業書リストの作成等で積極的な学校支援
- ④町会長、自治会長、商店会長等、地域人材の支援

【実施後の変化】

- ・地域の皆様、受入事業所の皆様の意識が教育支援から教育参加へ
- ・教員の勤労留学の成果からキャリア教育への参画意識の高まり

事例⑥ 素材は地域にある(地域人材との協働の可能性)



京成バス 利用者調査



「スーパーマーケット サントク」
フードマイレージ調査



JR貨物駅・物流調査



地元企業の皆さんとまとめ作業

教科指導で行うキャリア教育（基礎的・汎用的能力の育成）

平25・26年度 荒川区授業力向上プロジェクト事業研究指定校

4つの分科会に分け、授業力向上に向けた実践と検証を行う（仮）

① 人間関係形成能力グループ

授業の中にグループワークを取り入れ、討論型理科実験、討論型社会科授業・・・等で議論に基づく授業の在り方を探る。

② ICT機器活用授業グループ

これまでの実践を基に電子教科書を活用しつつ、電子黒板活用を意識した授業改善に取り組み、ICT機器（タブレット）活用の授業改善を中心に授業改善。

③ 学校図書館活用授業グループ

学校図書館の活用を更に進め、コラボレーション授業（図書館司書と教科担任の協働授業）を実践する中で、中学校における「調べ学習」を中心とした図書館活用授業の在り方を探る。

④ 外部人材活用授業グループ

外部人材を活用した理科実験等、学ぶ意欲を高める外部人材活用授業を研究し、適切な協働授業の在り方を探る。

各教科の授業で活用する要素、育てたい能力を全ての指導案にマトリックスで示し、授業実践と授業方法の検証を行う研究

要素 基礎的・汎用的能力	①人間関係形成 能力視点 (協議型授業)	② ICT機器 活用授業視点 (電子黒板・タブレット活用授業)	③ 学校図書館 活用授業視点 (学校図書館、書籍活用授業)	④ 外部人材活用 授業視点 (教科、キャリア専門家・・・等)
人間関係形成・社会形成能力	○			○
自己理解・自己管理能力		○		
課題対応能力				○
キャリアプランニング能力			○	

横軸【要素】
4つの柱となる要素を位置づける

縦軸【キャリア教育】
基礎的・汎用的能力4能力を位置づける

平成25年度校内研修会・荒川区授業力向上プロジェクト事業

英語科学習指導案日：平成25年6月14日(金) 諏訪台中学校授業者： 山崎 聡

指導案（一部抜粋） 3 キャリア教育の観点

「人間関係形成・社会形成能力」は「多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる」とともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することが出来る力である。」と定義されている。英語の授業では、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ等の育成を意識して指導している。

グループ 基礎的・汎用的能力	人間関係形成能力 (協議型授業) A	I C T 機器活用授業 (電子黒板・タブレット 活用授業) B	学校図書館活用授 (学校図書館活用授業) C	外部人材活用授業 (教科、キャリア専門家) D
人間関係形成・社会形成能力 ア	○ 相談、発表活動			○ ALT
自己理解・自己管理能力 イ	○ 発表活動		○ 資料選定	
課題対応能力 ウ	○ 発表活動	○ ICT機器での例示	○ 発表活動	
キャリアプランニング能力 エ				

「基礎的・汎用的能力」の育成に特に関連する外国語(英語)科の指導内容 ※キャリア教育の手引きより

言語活動としての話題	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
自分の気持ちや身の回りの出来事などの中から、簡単な表現を用いてコミュニケーションを図れるような話題を取り上げる	〈聞くこと〉 ※まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 〈話すこと〉 ・聞いたことを読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりすること	〈聞くこと〉 ・質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 〈読むこと〉 ・伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。	〈話すこと〉 ※与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。 ・つなぎ言葉を用いるなど工夫をいろいろして、話を続けること。	〈読むこと〉 ・書かれた内容や考え方などをとらえること。 〈書くこと〉 ・感想、賛否やその理由を書いたりすること。 ※聞いたことを読んだりしたことなどについて、自分の考えや気持ちを書くこと。

※本時に関連のある項目

要素① 学校図書館学習センター化推進(キャリア教育の視点)

- ・学校図書館を活用した学校司書とのコラボレーション授業を全教科で実施
- ・必要な情報を多くの書籍より調べ込む能力の育成
- ・授業に生きるレイアウト変更



整備された図書館



図書館司書とのコラボ授業(英語)



理科のコラボ授業

学校図書館の情報センター化

学校図書館はキャリア教育の拠点

ファイルコーナー ↓



新聞コーナー →

- ・調べ学習の充実
- ・図書館活用授業

荒川区郷土資料 ↓



準備急げ

司書と蔵書充実が必要

学力向のなかに、読書的重要性が指摘されて久しい。ところが、子どもたちを取り巻く読書環境の整備は遅れてきた。国や自治体、そして大企業などが支援していくべきなのだろうか。地域を元気にするために図書館の大切さを訴えてきた片山万寿博事務局長、文字・活字文化推進機構会長・真生堂名書館長の福原義春さん、児童読書の肥田剤「美文字」が「読む」は伸びる」学校図書館改革元年に」をテーマに語り合った。



本を読む

発機機 (O.R.D.) が国際
学習調査 (P.T.A.)
の結果を発表しました。
日本の15歳の子どもたちの
「読解力」は、国際順位が
前回の15位から8位に改善
しました。さらに悪くなる
心配はありませんが、一息
つかに状態です。

福原 P.T.A.では、00
年の初回以来、順位を落と
し続け、06
年は15位にな
り、がくせん

思います。現場では、考
え方は切替わってきていま
すが、まだ暗記重視の影響
が残っていますね。

肥田 確かこのP.T.A.
が、日本の教育の弱点を浮
き彫りにした面はあります
ね。

片山 私もこの数年、関
係者の意の高まりをひし
ひと感じました。特に読
解力が手がいり、やはり読書
が重要、一番の基礎だ、と
いう認識が共有されてき
うに編集されてます。毎
日の紙面に変化で、時代が
どう変わってきたのかわか
りやすい、読むことで、読
解力を養われるのでは。

片山 学校図書館に新聞
がないという点は、蔵書購
入費に新聞代を盛り込ん
でいます。新聞は、良い教材
でもあり、生徒だけでなく、
教職員も、図書館員も新聞を
読むようにすれば、良いか
もしれません。

「文 /www.mojikatsuji.or.jp/) で。
05年

新春鼎談「学校図書館改革元年に



(資料 3)

「詩を作る時はこんな本も参考になります」。図書館で行われる国語のコラボ授業では司書の知識が生きる(昨年12月1日、東京・荒川区立第三中提供)

学習の中心授業とコラボ

現場から

図書館を教育活動の中心に据えること、どんな効果があるのか、どうやって実現するのか、など、学校図書館を全教科授業で活用している東京・荒川区の区立第五中学校で聞いた。

東京・荒川三中
開館年250日

生徒が関心を抱くビッグイベントにあわせて、特設コーナーのメニューを要する。始業式の1日の直前には、箱根駅伝の熱の模様を題する新聞とともに駅伝を題材にした小説「風が強く吹いている」(三浦しんいち)など関連書籍を紹介するコーナーが設けられていた。

「社会に出て必要な情報収集力、分析力を養う図書館こそ教の中心であるべき」と。その語で清水隆彦校長52は、同中学に在任した6006年から、図書

0日以上」な数値目標を掲げた。「本をよめな」だけでは子どもは集まらない。様々な工夫の結果、利用者は増え続けた。全生徒約360人に対し、昨年度利用者では延べ約万1400人、30歳以上で1人平均年間約3回授業を運んだことになる。

図書館を活用した授業が、生徒たちに変えたという。常勤の司書が配属された9年度からは、教科書から保健体育までの全教科で、各教科担当の先生と司書と

授業に役立つ資料や本を選んで語の提案もする司書の野村朝子さん(41)は、「教科をり口にする」は、様々な本が介できる。新聞記事や関連資料も採る情報「手にしたい」と語り、清水校長は「生徒も先生もく自然に図書館を使うようになった」と言う。孝徳図書館が学びの姿を褒へようつあるようだ。

06年15位と下がり続けた。教育界に与えた衝撃は強く、「PISAシヨ

平成23年1月12日
読売新聞より

【キャリア教育の視点で 学校図書館改革】

- ・図書館学習センター化
- ・情報センター化

【社会人として必要な能力】

- ①情報収集力・分析力を
養う学校図書館活用
- ②言語能力の育成
- ③クリティカルリーディング

21世紀型スキルを意識した授業改善

一人1台のタブレットを全教科領域で活用

道徳：全員の意見を集約考え方をぶつけ合う



美術：写楽とミロのビーナスの描写を比較



保健体育：跳び箱指導で動画を記録し全員で課題を協議、課題対応能力の育成



中学校教育におけるキャリア教育推進のポイント

- ①学校側が目指す生徒像に向け、何をどう実施するのか3年間のキャリア教育指導計画に目的をしっかりと位置づける。その上で、外部人材と行事の目的、手法の情報共有を行う。
- ②行事をゲストに全委任するイベントではなく、学校の教職員と外部人材が教育活動としての役割分担を明確に位置づける。
- ③各教科、領域指導でいかにキャリア教育を推進し、授業の質を高められるか。キャリア教育の視点を指導計画にどのように盛り込み、評価、検証するのか。
- ⑤情報収集力・分析力のスキルを養う学校図書館の学習センター化事業の推進(コラボ授業等)
- ⑥産業界との連携。キャリア教育支援の外部団体の設立。一方通行ではない双方向の職場体験・・・等の企画。

中学校におけるキャリア教育実践による効果

- ①小中学校のキャリア教育をベースとした一貫した学習プログラムの作成と実践により、地域人、社会人、職業人を意識の高まりと系統性のある教育活動に結びついた。
- ②キャリア教育コーディネーターやキャリアコンサルタントの専門的人材活用により、これまで以上に外部企業、外部人材との結びつきがスムーズになり広がりを見せた。
- ③基礎的・汎用的能力を意識した授業改善により、授業の質を変えている。（活用する要素と育てたい能力のマトリックス）
- ④**生徒**にとって外部人材と協働で創り上げた各種行事が、**将来を見据えて今の学びや生活を見直す機会**となっている。
- ⑤**教職員**が外部人材と協働で作業することや意見交換の中から課題の共有化が図られ、**将来求められる能力を意識することで今の指導を見直す機会**となっている。

キャリア教育推進で教育の質を高める

ご清聴ありがとうございました

